

本報告書は、厚生労働省の難治性疾患実用化研究事業による委託業務として、国立大学法人京都大学が実施した平成 26 年度「パーキンソン病患者由来 iPS 細胞を中心とする多面的疾患モデルに立脚した革新的医薬品の開発」の成果を取りまとめたものです。